

道徳学習指導案

平成 23 年 12 月 9 日（金） 5 校時
読谷村立読谷中学校 1 年 8 組
授業者 仲村裕子

1. 主題名「感謝する気持ち」 内容項目 2－(6)
2. 資料名「松井さんの笑顔」（出典「ゆたかな心ー新しい道徳ー」 光文書院）
3. 本時の展開

(1) 本時のねらい

感謝する気持ちについて考えを深めることで、その気持ちを表すためにふさわしい言葉や行動をとる意欲や態度を育てる。

(2) 授業仮説

○展開後段の「感謝する」についてグループで考える場面において、これまでの自分の行動を振り返ったり、感謝の気持ちを表す言葉や行動を知ったりすることで、よりよい行動をしようとする意欲や態度が育つであろう。

(3) 準備

- ・ワークシート

(4) 指導過程

過程	学習活動・内容 (主な発問○と中心発問◎)	指導上の留意点
導入	1 ねらいとする価値を感じ取らせる ○「ありがとう」の言葉を言っている？	◇「いる」「いない」の人数を板書する。
展開	2 資料の三場面まで黙読する ○なぜ松井さんはいつも笑顔で自分たちの世話をしてくれているのですか？ ○なぜ「お母さんと同じように」なのですか？ ◎松井さんは、なぜ恩返しがしたいと考えたのだろう？ 3 3 資料の四場面を黙読する ○感謝の気持ちが足りないとはどういうことだろう？ ○感謝の気持ちをきちんと伝えている？ 4 今日の道徳を振り返って、感じたことや思ったことをワークシートに書いて、発表する	◇教師が音読する。 ◇2回繰り返されている理由を考えさせる。 ◇「感謝」の気持ちに気付かせる。 ◇教師が音読する。 ◇発言がなければ、グループで話し合わせる。 ◇切り返しの発問で、自己を見つめさせる。 ◇資料や話し合い通して感じたこと、考えたことをもとに、自分自身を振り返らせワークシートに書かせる ◇書く時間を十分に与える。 ◇自主的な発表がなければ指名する。 〔評価の観点〕 ・これまでの自分を振り返り次への意欲が持てたか (ワークシート) (発表)
終末	6 まとめ	◇教師の体験に基づく説話。

道徳学習指導案

平成 23 年 12 月 14 日（水）2 校時
読谷村立読谷中学校 1 年 8 組
授業者 仲村裕子

1. 主題名「自主的な判断」 内容項目 1－(3)
2. 資料名「アキラの選択」（出典「中学生の道徳」暁教育図書）
3. 本時の展開

(1) 本時のねらい

他者に迎合せず自主的に考え、誠実に行動しようとする意欲や態度を育てる。

(2) 授業仮説

○展開中断の「アキラの選択」について考える場面において、これまでの自分の行動を振り返り、自主的に考えて行動しようとする大切さを知ること、何事に対してもよく考えて行動しようとする意欲や態度が育つであろう。

(3) 準備

- ・ワークシート

(4) 指導過程

過程	学習活動・内容 (主な発問○と中心発問◎)	指導上の留意点
導入	1 ねらいとする価値を感じ取らせる。 ○何かを決めるとき、自分の意志で決めている？ ・決めている。 ・友達に合わせる。	◇どちらの意見についても、理由を聞く。
展開	2 資料の 1 場面を黙読する ○アキラにとってリョウタはどんな存在？ 3 資料の 2 場面を黙読する ○アキラとリョウタの気持ちが分かる？ ○アキラが理科を選択したことをどう思う？ 4 最後の場面を黙読する ◎アキラの判断についてどう思いますか？	◇教師が音読する。 ◇どちらの意見についても、理由を聞く。 ◇教師が音読する。 ◇登場人物の気持ちを考えて発表させる。 ◇教師が音読する。 ◇自分の考えをワークシートに書かせる ◇グループにして友達の考えと自分の考えを比較させ、その考えを書かせる。 ◇切り返しの発問で、自己を見つめさせる。
開	5 今日の道徳を振り返って、感じたことや思ったことをワークシートに書かせて、発表させる。	◇資料や話し合い通して感じたこと、考えたことをもとに、自分自身を振り返らせワークシートに書かせる ◇書く時間を十分に与える。 ◇自主的な発表がなければ指名する。 〔評価の観点〕 ・これまでの自分を振り返り次への意欲が持てたか (ワークシート) (発表)
終末	6 まとめ	◇教師の体験に基づく説話

道徳学習指導案

平成 23 年 12 月 21 日（水）3 校時
読谷村立読谷中学校 1 年 8 組
授業者 仲村裕子

1. 主題名「日々の心構え」 内容項目 1－(1)
2. 資料名「出船の位置」（出典「中学生の道徳」暁教育図書）
3. 本時の展開

(1) 本時のねらい

日常の心構えを身に付けておくことの大切さを自覚し、自らを律し、生活をよりよくしようとする意欲を培う。

(2) 授業仮説

○展開後段の「日常の心構え」について考える場面において、日常の心構えが充実した生活を過ごす上で欠くことのできないものであることを知ることで、これからも継続して自分自身の将来を豊かなものにしようとする意欲や態度が育つであろう。

(3) 準備

- ・展開前段で提示する写真（画像）
- ・ワークシート

(4) 指導過程

過程	学習活動・内容 (主な発問○と中心発問◎)	指導上の留意点
導入	1 ねらいとする価値を感じ取らせる ○「心掛ける」ってどういうことかな？	◇「どのように心掛けているのか」も聞く。
展開	2 資料の前半（17行目まで）を黙読する ○「出船の位置」ってどういうことかな？ ○靴はどこの向きに脱ぐのかな？ 3 資料の教え子たちが恩師の言葉を実行している理由を考え、発表させる ○「先生の言葉を30年も心に留めて実行している」のはなぜだろう？ 4 資料の中盤（「事の顛末は」～「語りかけただけなのである。」）を黙読する ○「靴の脱ぎ方も同じ」は何と同じということだろう？ ○「船首を沖に向けて停泊する」ことで何に対処できるだろう？ ◎「出船の位置に」には日常のどんな心構えが込められているだろう？ ○みんなは、どんな「心掛け」をしているかな？ ○「心掛け」をすることで、どうなるだろう？ ○「心掛けていないことがない」「心掛けたいけどできない」について、どう考える？ 5 今日の道徳を振り返って、感じたことや思ったことをワークシートに書かせて、発表させる	◇教師が音読する。 ◇「出船の位置に靴を脱ぐ」のイメージをもたせる。 ◇自主的な発表がなければ指名する。 ◇教師が音読する。 ◇「出船の位置に靴を脱ごう」から「心掛けること」の大切さについて考えさせる。 ◇考えを比較できるように板書する。 ◇自主的な発表がなければ指名する。 ◇導入を振り返る。 ◇悪い面での心掛けもあるので、良い方向に導いていく ◇グループにして友達の考えと自分の考えを比較させる。 ◇資料や話し合い通して感じたこと、考えたことをもとに自分自身を振り返らせる。 ◇書く時間を十分に与える。 ◇自主的な発表がなければ指名する。 〔評価の観点〕 ・これまでの自分を振り返り次への意欲が持てたか (ワークシート) (発表)
終末	8. まとめ ○授業の感想を述べて終了する。	◇教師の体験に基づく説話

道徳学習指導案

平成 24 年 1 月 11 日（水） 2 校時
読谷村立読谷中学校 1 年 8 組
授業者 仲村裕子

1. 主題名「勤労の尊さ」 内容項目 4－(5)
2. 資料名「午前一時四十分」（出典「中学生の道徳」暁教育図書）
3. 本時の展開

(1) 本時のねらい

勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする実践意欲を培う。

(2) 授業仮説

○展開中段の「おばあさんの姿」について考える場面において、働くことは責任を伴うものであり、働くことによって社会とつながり、充実感を得ることができるものであることを知ることで、生きがいのある充実した生き方をしようとする意欲や態度が育つであろう。

(3) 準備

- ・ワークシート

(4) 指導過程

過程	学習活動・内容 (主な発問と予想される生徒の反応)	指導上の留意点
導入	1 ねらいとする価値を感じ取らせる ○「将来の仕事」を決めている？	◇決めている場合は、仕事の種類も聞く。 ◇決めていない理由も聞く。
展開	2 資料の前半（21行目まで）を黙読する ○おばあさんのどんな思いが、毎日午前一時四十分に新聞店に出かけさせるのだろう？ 3 資料の後半を黙読する ○「自分が行かなかったら困る」おばあさんは、なぜそう思うのだろう。 ◎なぜ、おばあさんは26年も新聞の仕事が続けることができるのだろう。 ○「当たり前の責任」とは、どういうこと だろう。 4 「働くこと」について考え、発表する ○「働くこと」で大切にしなければならないものは何だろう？ 5. 今日の道徳を振り返って、感じたことや思ったことをワークシートに書かせて、発表させる。	◇教師が音読する。 ◇単に新聞配達するだけでなく、人との関わりや責任があることに気付かせる ◇自主的な発表がなければ指名する。 ◇教師が音読する。 ◇グループにして友達の考えと自分の考えを比較させる。 ◇「仕事に対する責任感」がそう思わせることに気付かせる。 ◇グループにして友達の考えと自分の考えを比較させる。 ◇切り返しの発問で、自己を見つめさせる。 ◇資料や話し合い通して感じたこと、考えたことをもとに、自分自身を振り返えらせる。 ◇書く時間を十分に与える。 ◇自主的な発表がなければ指名する。 〔評価の観点〕 ・これまでの自分を振り返り次への意欲が持てたか (ワークシート) (発表)
終末	8. まとめ	◇教師の体験に基づく説話

道徳学習指導案

平成 24 年 1 月 18 日（水） 2 校時
読谷村立読谷中学校 1 年 8 組
授業者 仲村裕子

1. 主題名「自然を愛する心」 内容項目 3－(2)
2. 資料名「あっ！トトロの森だ」（出典「中学生の道徳」暁教育図書）
3. 本時の展開

(1) 本時のねらい

人間が自然の中で生かされていることに気づき、自然を尊び、愛護に努めようとする態度を育成する。

(2) 授業仮説

○展開後段の「人と自然とのかかわり」について考える場面において、人は自然と共存しながらその恩恵に浴し、自然に生かされ育まれてきたことを知ることで、自然との心のつながりを見出し自然を護っていこうとする意欲や態度が育つであろう。

(3) 準備

・写真（画像） ・ワークシート

(4) 指導過程

過程	学習活動・内容 (主な発問○と中心発問◎)	指導上の留意点
導入	1. ねらいとする価値を感じ取らせる。 ○すごい！と思う景色を見たことある？ (○その景色はこれから残ると思う？)	◇見た景色をそれぞれ板書する。
展開	2. 資料の前半（72ページ）を黙読する。 ○「敬けんな思い」ってどんな思い？ 3. 資料の後半を黙読する。 ○昔の人々は、なぜ自然に対して敬けんな思いを抱いていたのだろう？ ○自然に対する思いは、昔と今では変わってしまったのだろうか？ ○あなたは、自然に対してどんな思いを抱いている？ ○「自然と人間のかかわりについて」どう思う？	◇教師が音読する。 ◇教師が音読する。 ◇自然を価値のあるものとして大切にしていたことに気付かせる。
開	5 今日 の道徳を振り返って、感じたことや思ったことをワークシートに書かせて、発表させる。	◇改めて自然に対する思いを振りかえさせる。 ◇自然を守っていくことと豊かな暮らしの調和が大切であることに気付かせる ◇切り返しの発問で、自己を見つめさせる。 ◇資料や話し合い通して感じたこと、考えたことをもとに、自分自身を振り返えらせる。 ◇書く時間を十分に与える。 ◇自主的な発表がなければ指名する。 〔評価の観点〕 ・これまでの自分を振り返り次への意欲が持てたか (ワークシート) (発表)
終末	6 まとめ	◇教師の体験に基づく説話

道徳学習指導案

平成 24 年 1 月 25 日（水） 2 校時
読谷村立読谷中学校 1 年 8 組
授業者 仲村裕子

1. 主題名「目標に向かう意志」 内容項目 1－(2)
2. 資料名「目標は小刻みに」（出典「中学生の道徳」 暁教育図書）
3. 本時の展開
 - (1) 本時のねらい

大きな目標も一步一步着実に積み上げる努力で達成できるのだということを自覚し、達成への実践意欲を培う。

(2) 授業仮説

○展開中段の「目標を持つこと」について考える場面において、手に届くような目標を持ち達成していく喜びが、さらなる目標を目指す原動力になることを知ることで、より大きな目標にむかって努力していこうとする意欲や態度が育つであろう。

(3) 準備

- ・ワークシート

(4) 指導過程

過程	学習活動 (主な発問○と中心発問◎)	指導上の留意点
	1 ねらいとする価値を感じ取らせる ○ 3 学期の目標（新年の抱負）は何？	◇目標とそれを目指した理由を聞く。 （対象学級は「新年の抱負」を漢字一字で書いて掲示していたので、それを活用した。）
展開 前段	2 資料の前半（40～41ページ）を黙読する ○スタート前の私は、どんな気持ちだったのだろう？ （基本発問・読み取り発問） 3 資料の後半を黙読する ◎くじけそうになった私を支えたものは何だったのだろう？ （中心発問・読み取り発問）	◇目標を持つきっかけになった気持ちに気付かせる。 ◇ワークシートに「スタート前の私の気持ち」を書かせる。 <u>登場人物への共感</u> ◇発言がなければ、グループで話し合わせワークシートに書かせる。 ◇教師が音読する。 ◇最後まで走り続けるために、私を支えていた小さな目標を達成する満足感や喜びが、より高い目標に向かう意欲につながることに気付かせる。 ◇ワークシートに「私を支えたもの」を書かせる。 <u>登場人物への共感</u>
展開 後段	○目標を持つ理由って何だろう？ （基本発問・掘り起こし発問） ○2 学期の目標を達成できた？（補助発問） ○目標を達成できないのはなぜだろう？ （基本発問・揺さぶり発問） ○目標を達成するためには？（補助発問） 4 スポーツ選手の作文を聞く 5 今日の道徳を振り返って、感じたことや思ったことをワークシートに書いて、発表する	◇目標を達成したときの喜びや、今の自分に合った目標を持つことの大切を考えさせる。 ◇ワークシートに「目標を持つ理由」を書かせる。 <u>考えの整理・深化</u> ◇「目標を忘れてしまうとは？」「達成できなかった目標はどうした？」「レベルが高すぎた、とはどういうこと？」など、切り返しの発問で自己を見つめさせる。 ◇ワークシートに「目標を達成できない理由」を書かせる。 <u>考えの整理・深化</u> ◇「目標を達成したい」という意欲を持たせる。 ◇ワークシートに「目標を達成させる方法」を書かせる。 <u>考えの整理・深化</u> ◇偉大な業績を残す選手は、目標を持って努力し続けていることを紹介する。 ◇資料や話し合い通して感じたこと、考えたことをもとに、自分自身を振り返らせワークシートに書かせる。

		自己への振り返り ◇書く時間を十分に与える。 ◇自主的な発表がなければ指名する。 〔評価の観点〕 ・これまでの自分を振り返り次への意欲が持てたか。（ワークシート）（発表）
終 末	6 まとめ	◇教師の体験に基づく説話